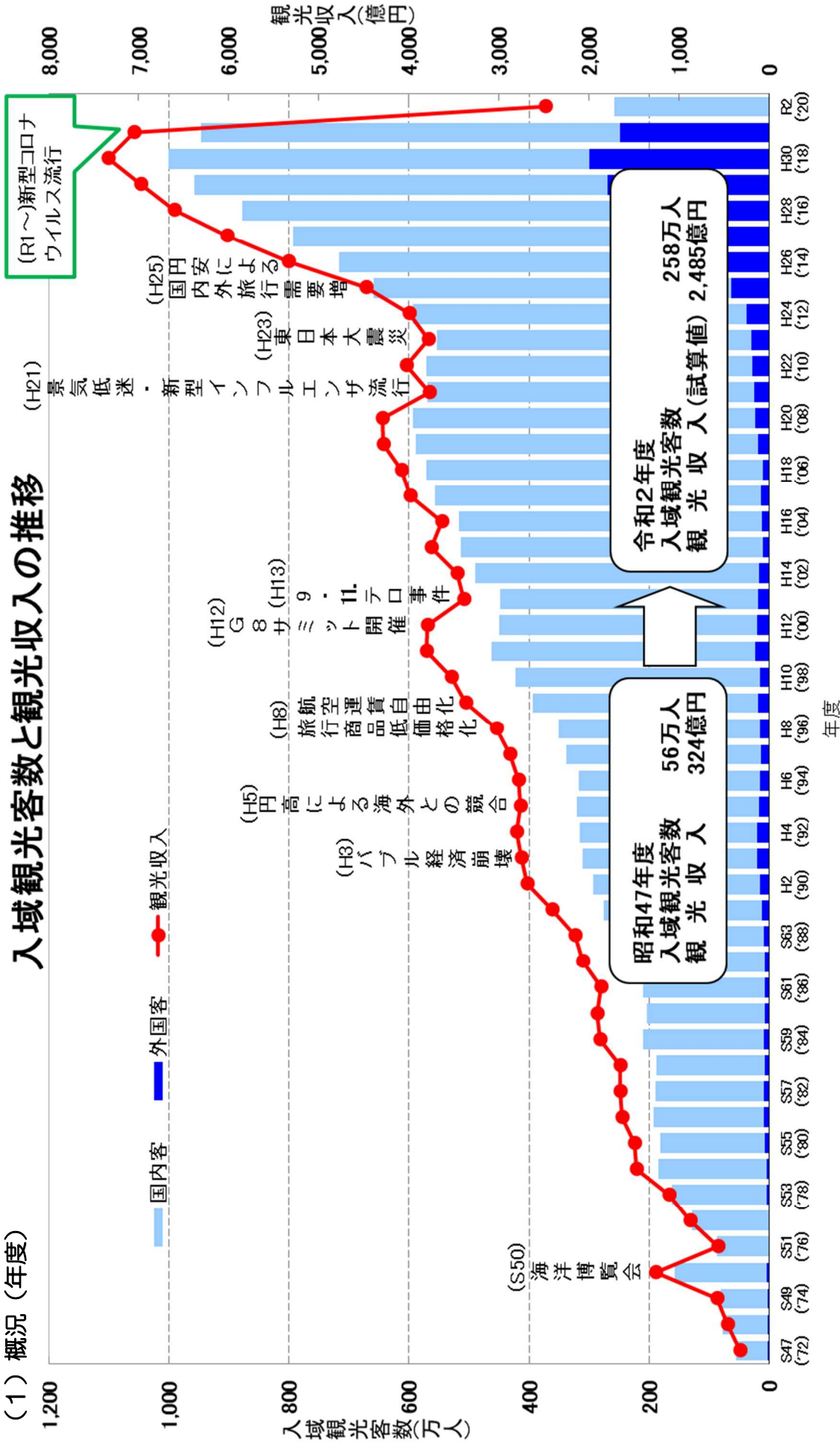


I 沖縄観光の概要

1 沖縄観光の推移

(1) 概況 (年度)



※出所：観光客数は沖縄県「入域観光客統計」、観光収入は沖縄県「観光統計実態調査」
 ※観光収入は、平成17年度までは暦年の数値、平成18年度以降から年度の数値となっている。
 ※外国客には、特例上陸者を含む。

(2) 主なトピックス (年代別)

戦後～本土復帰	<p><慰霊訪問団（墓参観光）が中心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本本土から沖縄への旅行にはパスポートが必要であった。 ・沖縄本土復帰（昭和 47 年 5 月）
本土復帰～1970 年代 (昭和 47 年～昭和 54 年)	<p><海洋博を契機として、沖縄が観光地として定着></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄国際海洋博覧会開催（昭和 50 年 7 月） ・団体包括割引運賃制度開始（昭和 52 年～） ・航空会社が本格的な沖縄キャンペーン開始（昭和 52 年～）
1980 年代 (昭和 55 年～平成元年)	<p><リゾートホテルの開業相次ぐ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 次オイルショック（昭和 54 年）や円高不況（昭和 58 年～62 年頃）の影響を受けながらも、緩やかに観光客数増加 ・昭和 62 年に施行された総合保養地域整備法によるリゾートブーム
1990 年代 (平成 2 年～平成 11 年)	<p><バブル景気後の伸び悩み期を経て、航空運賃の自由化や旅行商品の低価格化が進展したことにより急激に観光客数が増加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バブル経済崩壊（平成 3 年）→平成不況 ・首里城公園開園（平成 4 年） ・急激な円高による海外との競合（平成 5 年） ・1990 年代後半頃から沖縄出身アーティストが躍進。沖縄への注目高まる。
2000 年代 (平成 12 年～)	<p><世界情勢の影響を受けながらも、沖縄人気定着></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県において「九州・沖縄サミット首脳会合」開催（平成 12 年） ・NHK「ちゅらさん」放映開始（平成 13 年） ・9.11 アメリカ同時多発テロ事件の影響による風評被害 →「だいじょうぶさー沖縄」キャンペーン実施（平成 13 年） ・「沖縄美ら海水族館」リニューアルオープン（平成 14 年） ・SARS 拡大、イラク戦争勃発。（平成 15 年） ・沖縄都市モノレール「ゆいレール」開業（平成 15 年） ・沖縄型特定免税店「DFS ギャラリー・沖縄」オープン（平成 16 年） ・米州開発銀行（IDB）等年次総会開催（平成 17 年） ・本土復帰後の累計入域観光客数が 1 億人を突破（平成 19 年） ・金融危機後の世界的な景気後退の影響を受ける。（平成 20～21 年） ・新型インフルエンザの世界的流行（平成 21 年）
2010 年代 (平成 22 年～)	<p><世界的な景気低迷、円高、各地の災害等により、厳しい状況となったが、官民一体となった取り組みにより回復し、観光客数が急増></p> <ul style="list-style-type: none"> ・美ら島沖縄総体 2010 開催（平成 22 年） ・東日本大震災の発生（平成 23 年） ・中国人観光客への数次ビザ発給開始（平成 23 年） ・本土復帰 40 周年（平成 24 年） ・新石垣空港「南ぬ島石垣空港」開港（平成 25 年） ・那覇空港「新国際線旅客ターミナルビル」供用開始（平成 26 年） ・慶良間諸島が国立公園に指定（慶良間諸島国立公園）（平成 26 年） ・那覇港泊ふ頭若狭バース「那覇クルーズターミナル」供用開始（平成 26 年） ・伊良部大橋開通（平成 27 年） ・沖縄県北部地域にやんばる国立公園を指定（平成 28 年） ・沖縄空手会館開館（平成 29 年） ・那覇空港際内連結ターミナル施設のオープン（令和元年） ・みやこ下地島空港ターミナルの開港（令和元年） ・首里城火災による正殿等の焼失（令和元年） ・クルーズ船寄港回数が過去最高を更新（令和元年） ・年間入域観光客数 1000 万人突破（令和元年）

<p>2020年代 (令和2年～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇空港第2滑走路供用開始(令和2年) ・平良港クルーズ船バース供用開始(令和2年) <新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、厳しい状況となり、観光客数が減少> ・東京オリンピック・パラリンピック開催(令和3年) ・沖縄選手初の金メダル獲得(令和3年) ・那覇文化芸術劇場なはーと開館(令和3年) ・奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産登録(令和3年)
---------------------------	--